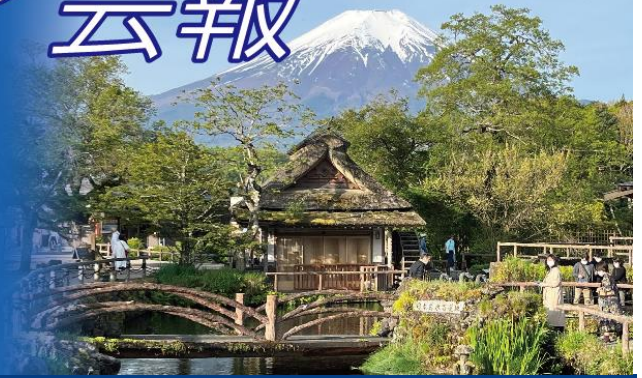




寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB

R.I.会長
ゴードンR.マッキナリー
第2570地区ガバナー
高丹 秀篤
第4グループガバナー補佐
原島 生慈



令和5年11月15日(水)
会場 ホテルシティプラザ寄居

第2711回例会

司会 吉田 正博 (SAA)
点鐘 松本 則之会長 (12:30)
ソング 奉仕の理想

お客様

ロータリー財団委員会

統轄委員長 茂木 聡 様

1. 会長の時間 寄居RC 松本 則之さん

皆さん、こんばんは。本日はお客様を招いております。

国際ロータリー第2570地区、ロータリー財団委員会

統括委員長、危機管理委員会の委員も兼務しております茂木聡様、本庄ロータリー所属です。どうぞよろしく願いします。茂木さんは、先日の東松山で行われました3Dayマーチ、私も一緒に同行させていただいたのですが、とにかくびっくりするぐらい健脚な方でして、最初は車いすの方たちと一緒に歩いておりましたが、途中から車椅子は通れない砂利道の方に分かれた通りになった途端、鬼のように、もう一般の他の参加者をどんどん追い抜く形で、スピードを上げました。そこについていくのは私と、あと登山で鍛えている安齋さん、あと比較的若手の会員2名でした。何とか離されないようにゴールまで歩いて行った次第です。

当日は思いのほか健康的なエクササイズができてよかったというのが私の感想でした。また後で卓話をいただきますので、楽しみにしていただければと思います。

また、皆様にお願ひがあります。事務局の引越し日程が12月19日に決まりました。サカイ引越センターさんで8時半から行きます。作業自体は4、5時間程度で、搬出から搬入まで終わる時間見積もりをしています。引越し業者さんにお願ひするのですが、当日2、3人の方のお手伝いをいただけたら幸いです。当日手伝えるという方は、会長・幹事に連絡をお願いします。19日大安吉日になります。よろしくお願ひします。

本日の会長の時間ですが、前回の例会で水と空気のみで

ガソリンを作ることに成功したという、京都大学教授の今中教授と大阪府が共同で開発しているということですが、とにかくこれは人類史上、また長いスパンでも見ても、かなり画期的な発明だと思います。私も最近になってニュースで聞いた、量子エンジンの開発研究にも成功したという話。これもガソリンや電気を入れることなく、量子の形状の変化のみで永久的に動くエンジンという、それが実験で成功したというニュース。これは人類史上で見れば、大きな転換点の筈なのですが、マスメディアというのは本当にこういうことを取り上げて放送しないです。

というのもやはり、こういった半永久的なクリーンエネルギーができてしまうとエネルギー利権で潤っている政治家にも、経済的にも強大な、メジャー等の巨大企業の利益を吹っ飛ばしてしまう、ものすごいインパクトがある訳で、これは果たしてそのまま人類がその研究開発の恩恵を受けることになるのかどうなのか。かなり怪しいなど、マスコミの反応を見ると危惧しております。

今日は地区委員の茂木さんも招いています。私の単なる思いつきですが、全世界のロータリー会員というのが約120万人おります。たとえロータリーアンから1000円程度集めたとして、120億程度の資金ができます。

今、世界でノーベル賞のような素晴らしい発明に対して賞を与えていますが、国際ロータリーでも、こういった人類の歴史を変えるような研究成果に対して、これを表彰するような賞を創設できれば、120万のロータリーアンたち、それぞれ地域では名士と呼ばれるような方たちです。それなりに政治力、経済力をも持っています。このロータリーアンが研究を応援支援するという事になれば、これを潰したいと考える、メジャーや政治家への大きな対抗勢力になりうるのではないかと私は考えまして、こういった方向にもロータリーが発展して、一致団結していけば、社会を変える力にロータリーはますます力を持てるのではないかとことを思いまして、少しお願ひ的になってし

まうのですが、地区委員の方でも何かそういった研究がされているということをシェアしていただければ、ものすごく嬉しく思います。以上会長の時間でした。ありがとうございました。

2. 幹事報告

寄居RC 松本 幸男さん

皆さんこんばんは。幹事報告をさせていただきます。先ほど会長より引越しのお話がありました。補足いたします。引越し業者の方は3名来ます。物を運ぶ場合は4点支持にて運ぶのが効率良いということなので、会員の皆様で力自慢の方3名ほどにご協力をいただき、大きな荷物については引越し業者と協力して4人での作業を考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



また、12月2日、奉仕作業として社会奉仕委員会が中心となり、街路樹プレート埋設および清掃作業を駅前にて行います。新しい通りのところですが。集合場所ですが、寄居駅南口Yottecco、時間は、午前10時です。ほうき、ちりとり、ジョーロなど持参できる方は持参してください。よろしくお願いいたします。

今年も、もう少しで終わりますが、クリスマス会等いろいろあります。引越しもあります。会長と共に楽しいロータリーにしていければと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。幹事報告は以上です。ありがとうございました。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

小宮 俊光さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
11月15日	35	9	26	0	74.29%
11月 8日の修正出席率					88.57%

(2) ニコニコボックス委員会

下条 誠さん

茂木 聡様 ロータリー財団月間にあたり、本日卓話をさせていただきます。寄居ロータリークラブの皆様、よろしお願いします。

松本 則之さん ロータリー財団委員会統括委員長 茂木聡様、本日は寄居クラブまでありがとうございます。卓話、楽しみにしております。

松本 則之さん 引越しと12月2日プレート埋設作業、清掃活動。何卒よろしくお願いいたします。

松本 幸男さん ロータリー財団委員会統括委員長 茂木聡様、寄居ロータリークラブへようこそ。本日はたくさん勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。

津久井大雄さん 財団委員会統轄委員長 茂木様、寄居RCへようこそ。本日は宜しくお願い致します。

佐橋 正行さん 茂木さん、今日はありがとうございます。卓話よろしくお願いいたします。

小宮 俊光さん 茂木聡委員長、ようこそ寄居RCへ!! 卓話楽しみです。宜しくお願い致します。

柴崎 猛さん 茂木 聡 ロータリー財団委員会統括委員長、本日は寄居RCへようこそ。卓話よろしくお願いいたします

清水 浩一さん 茂木様ようこそ寄居RCへ。卓話楽しみです。

三友 俊一さん 茂木様 本日の卓話、よろしくお願いいたします。

加藤 祐司さん 茂木 聡様 ようこそ寄居RCへ。ご指導よろしくお願いいたします。

安齋治一郎さん 茂木 聡様 寄居RCへようこそ。本日は宜しくお願いします。

大久保知明さん 茂木さん、お久しぶりです。本日の卓話、宜しくお願いします。

荻野 真仁さん ふるさとの祭典市では、サンマ焼きなどありがとうございました。実行委員長に代わり、御礼申し上げます。

橋本 則彦さん 茂木様、今夜はよろしくお願いいたします。吉田 正博さん 茂木様、ようこそ寄居RCへ。本日の卓話たのしみしております。

吉田 昌弘さん 茂木 聡様、ようこそ寄居RCへお越しいただきありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

小鮒 哲夫さん 茂木様、ようこそ寄居RCへ。卓話よろしくお願いいたします。

高田 徹さん 茂木 聡様、ようこそ寄居RCへ!!本日は何卒よろしくお願いいたします。

高倉 隆綱さん 茂木 聡様、ようこそ寄居RCへ。卓話、楽しみにしております。

野村 文昭さん 日曜日はサンマをたくさん焼きました。とても楽しかったです。かえって服を洗濯しましたが、やはりまだ臭いが消えません!

吉田 正博さん 前回お休みのため。

高倉 隆綱さん 前回欠席の為。

野村 文昭さん 前回欠席のため。

下条 誠さん 茂木 聡委員長、卓話楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

御祝い

小宮俊光さん ご長男結婚祝い

倅の結婚に際しまして、過分なお祝いありがとうございます。感謝いたします。先日11月3日、青山セントグレース大聖堂において無事に結婚披露宴が終わりました。



卓話

ロータリー財団委員会統括委員長 茂木 聡 様

皆様こんばんは。本年度地区ロータリー財団委員会、統括委員長の茂木です。所属は本庄ロータリークラブです。

まず寄居ロータリークラブの皆様、日頃よりロータリー財団にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。そして本年度は安齋さんが、ポリオプラス委員会の副委員長で、一緒に活動していただいていること、本当に助かっております。ありがとうございます。

先ほど松本会長から End Polio Now ウォークのお話をいただきました。たくさんのメンバーに参加いただきまして感謝申し上げます。全然健脚ではないです。後半、なぜあんなに急いだかと申しますと、我々午前中10時前にはスタートしたのですが、お昼の場所、森林公園南口から入っていきまして山を登った上の方に展望レストランというのがありまして、そこで当日皆様にお弁当を配るという役目があったものですから、後ろの方からついていってお弁当をもらうわけにもいかないので、一生懸命歩いて、皆様方が到着する前に展望レストランにいた、ということが真実でして、健脚でも何でもありません。

本日はロータリー財団月間ということで卓話をするにあたりまして、「ロータリー財団、世界に良いことをしよう」というテーマで、なるべくわかりやすくロータリー財団全般について、お話を聞いていただければと思います。

まずはロータリー財団の誕生です。今から106年前、1917年ときのRI会長アーチC・クランプがアトランタでのロータリー年次大会、今でいう国際大会の演説で、世界に良いことをするために基金の創設を提案しました。これがロータリー財団の始まりです。ロータリー財団はロータリアンのためにあります。この基本理念は今でも同じです。ロータリー財団、いろいろと難しいとか、寄附の話ばかりなど、いろいろ言われがちですが、お金を預かる場所でもありますので、若干ややこしい面があるかと思いますが、ロータリー財団はロータリアンのためにあ

るものだけということだけ申し上げます。

財団には使命と標語があります。ロータリー会員が人々の健康状態の改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善平和を達成できるようにすること。そして、皆さん本当によくお聞きになるとと思いますが、財団の標語、「世界に良いことをしよう。」これに尽きます。

毎年、年次報告という形で記録がオープンになっています。直近のデータとしては、21-22年度年次報告書が上がっています。1年間において1199件、グローバル補助金プログラムの補助金を授与し、地区補助金としては478件授与しました。災害救援補助金、228件。そして33件のポリオプラス補助金を授与し、平和フェローを年130名輩出しています。これが財団の21-22年度の収支報告です。支出の方が3億3000万ドル、その財団の支出の内訳です。

3億3000万ドルのうち、ポリオプラスが1億5000万ドル、グローバル補助金が7300万ドル、地区補助金が2700万ドル、ロータリー平和センターが400万ドル、その他という形で、災害救援補助金800万ドル、大規模プログラム200万ドル、その他合わせて1900万ドル、ここまでで支出の全体の80%、その運営費まで入れても89%。こちらにいらっしゃる方、多分ロータリー以外の諸団体、数多く入っていらっしゃるかと思います。諸団体の中で、実際自主的な実行されている費用、これが90%を占めているというのは、ロータリー財団以外ありません。本当にそういう面では、透明性が高いものを感じています。これが本年度、23-24年度のロータリー会員1人当たりの寄付目標、ロータリー財団管理委員会より、我々財団の方に指示が来まして、それを持って、まず地区研修協議会等で当時の会長エレクトさん、当時の次年度財団委員長さんの方にお問い合わせをした寄付目標です。財団プログラムで3年後に我々が使えるという年次基金に1人150ドル以上をお願いし、主としてポリオプラスとして1人30ドル以上をお願いし、元金を使わずその収益のみを使う恒久基金に1人30ドル以上、合わせまして1年間に1人210ドル以上をお願いしてきました。この23-24年の目標は、昨年度も同じです。

各クラブの実績をお話させていただきます。第一グループの川越から始まりまして、第2グループ、第3グループ、そして第4グループ、深谷、本庄、秩父、寄居…という順でしょうか。年次基金3962ドル79セント、ポリオプラスとして975ドル、恒久基金975ドル、合計5912ドル79セントです。そのときの会員数で割りますと、1人あたり185ドルご寄付いただいています。本年度、1人あたり210ドルという目標を設定しお願いをしていますので、昨年度の記録を超えるようお願いいたします。これが財団プログラムです。

どうでしょう。ロータリー財団委員長にお前なれと言われて、喜ぶ方がいらっしゃるでしょうか。嫌われどころの

財団委員長かなという気はしているのですが、先ほども少しお話ししましたが、皆様方の寄附等々を扱うときもあり、面倒くさいところもありますが、財団のプログラムは三つのパターンしかありません。ポリオプラスとロータリー平和フェロシップ、そして補助金、この三つだけです。

最初にポリオプラス。1985年にこのポリオプラスプログラムができ、ロータリーの最優先項目、それがポリオの根絶でした。本年度は10月24日が世界ポリオデーでした。200を超える国と地域、ロータリークラブがあって、それぞれの地区並びにクラブで、このポリオ根絶を応援するPRをする、それが世界ポリオデーです。

当地区は11月4日、日本スリーデーマーチの中で End Polio Now ウォークというのを立ち上げ、地区内ロータリー会員並びに家族の皆様方58名ご参加をいただき、青少年交換委員会のインバウンドアウトバウンドの形を入れますと、合わせまして、約80名、当日10キロウォークでした。さすがに私は10キロできないので、途中で休みましたが、そんな形でロータリーがポリオ根絶をしているんだというPR活動をしています。

ポリオの症例数です。今年の1月1日から直近のデータとしまして10月24日まで。ポリオウィルスの常在国と言われるパキスタンとアフガニスタンで4件、合わせて10件発症数が確認されています。アフリカ東海岸にあるモザンビークとその隣国のマラウイ、カウント0ですが、ポリオフリーと言われるポリオがなくなりましたということ。これをWHOが宣言するのに、3年間0を確認しないとならない。ですから来年マラウイはこのまま0で推移して、そのまま来年0であれば、このマラウイという国の名前はこの表から外れます。

ポリオ根絶のため25万以上ワクチン接種をロータリーアンはしてきました。直接はしてないかもしれないですけど、そのために莫大なる費用をかけてきました。ここまで99%減っています。ただ残念ながら今年の10月24日の時点で10件あります。

先ほど、ロータリー財団の支出の45%が、ポリオだとお話ししました。1億5000万ドル。なぜそんなにお金がかかるのですかという話です。それは、ポリオが根絶されない限り、年4億人以上のこどもに、ワクチン投与、予防接種を行います。その監視活動のためのもの。あらゆるそういう人たちのための15万人以上の雇用（ポリオワーカー）が必要な訳です。今10件です。これを何もしないでいいますと、この10年間で新たに20万件以上発生してしまうという予想ができています。ロータリーアン1人1人の寄付が子供たちの命を救い未来へのチャンスを与えていきます。それがポリオ根絶のテーマです。

二つ目のプログラムがロータリー平和フェロシップです。これは平和および紛争解決におけるリーダーを育成支援するための奨学金プログラムです。当地区2011年度平和フェローであった金村さんはオーストラリアのクリーブランド大学で修士を学び、卒業後日本国際ボランテ

ィアセンターの職員としまして、こどもの栄養改良プロジェクトに取り組んでいました。その後、若干体調崩されて退職し、今は日本赤十字で働いていると聞いています。このフェロシップのプログラムは2002年に創設されて、今まで1700人以上のフェローを輩出し、140カ国以上でフェローたちは活躍をしています。

そして三つ目のプログラム、補助金です。地区補助金、グローバル補助金、ロータリー災害救助補助金、大規模プログラム補助金の4本立てです。

寄居ロータリークラブさんは今年の地区補助金で社会奉仕活動、来月行われる街路樹プレート埋設と清掃活動です。寄居ロータリークラブさんからは申請いただいて、もう既に財団としましては承認済みです。

災害救援補助金について。これは災害復興支援のために使える補助金です。被災地区が申請をします。これを申請するのはすごく簡単です。申請する用紙1枚を記入し、プロジェクトの見積もりが必要な場合、見積書を添付すれば、申請は出せます。ほとんど内容的には難しいことはないです。予算は2万5000ドル以下。ただし、この災害給与補助金のための基金、そこにお金がある場合については順番制で使用します。直近ではトルコ地震等にこれを使いました。

次に大規模プログラムについて。今年でこれができて3

年目です。国際奉仕や人道奉仕で使われます。プロジェクトの活動自体は、3年から5年の中で、予算は200万ドル以上のプロジェクトです。他団体とのパートナーシップの下に、ロータリー会員が主導する国際的活動に資金を提供します。この目的は、より多くの場所でより多くの人たちに恩恵をもたらし、未長く続く変化を助長していくために、重点分野においてすでに実績のあるプログラムモデルを拡大していくことと持続可能性があることが肝心です。世界からプログラム手を挙げた人が、競争性で、年に一口。初年度はアフリカでマラリアの奉仕。今年にはエジプトで子宮頸がん撲滅のためのプロジェクトがありました。



そして地区補助金とグローバル補助金。これは人道奉仕、そして奨学金、職業研修、この三つに使われます。

まず地区補助金は、国内の自分たちの地域でもいいし、日本で言うなら海の向こうの場所でもいいです。小規模であり、短期になります。申し訳ないですが、地区補助金は短期で1年以内に集結をしないとイケません。地区が管理をします。

グローバル補助金は国際奉仕のプロジェクトです。ロータリークラブがある国との共同申請で、プロジェクトの最

低予算額は3万ドルです。重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果が担保されます。

グローバル補助金プロジェクトに地区のDDFを使う場合については、WFなど上乘せがあるということです。一般的な条件を話します。まず、地区補助金、グローバル補助金の使用と授与条件に従うことです。地区が開く補助金管理セミナーに出席をし、来年度のために本年度、来年の3月2日土曜日、嵐山の国立女性教育会館で管理セミナーをします。会長エレクトさん、次年度の財団委員長さんにご案内を出しますので、3月2日予定を入れておいてください。そしてグローバル補助金を利用するには、さらに重点分野に該当しなくてはなりません。海外の地区あるいはクラブの共同申請が必要です。持続可能性と測定可能性があることが必要です。例えば高額な医療機器を購入し、発展途上国に送るとする場合、それだけのプロジェクトだとグローバル補助金の対象になりません。持続可能性という事が重要になります。グローバル補助金重点分野は平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済的發展、そして増えたのが環境です。この7つの分野に合致するプロジェクトでないといけません。

補助金の原資。3年前に皆様方からいただきました年次基金、そして、恒久基金。元金を使わないという恒久基金の収益、これを合わせたものです。そこからまずロータリー財団が管理運営費として5%引きます。残った方の95%、その半分ずつですから、全体で言うのは47.5%と47.5%が国際財団活動資金(WF)と呼ばれるもの、左側の地区財団活動資金(DDF)と呼ばれるものに分けられます。

WFはグローバル補助金に利用ができます。DDFはポリオプラスだったり、平和センターへの利用ができ、グローバル補助金も利用ができ、地区補助金にも利用ができます。ただ、地区補助金にDDFは、最大でも50%までしか使えないという制約があります。ですから地区補助金の額を増やしていくには、逆算しますと3年前の年次金がたくさんあれば、地区補助金がたくさんあるという事になります。それなので、1人210ドルの目標設定をさせていただ

てます。

活動資金の使途です。地区財団活動資金は地区が使途を決定し、地区補助金に利用し、グローバル補助金の資金に使い、寄贈をする。WFと呼ばれる国際財団活動資金は、ロータリー財団管理委員会が使途決定します。クラブや地区が計画をするグローバル補助金事業に利用ができ、ケアセンタープログラムへ使用し、ここで大規模プログラムへの基金、さらに雇用への基金、そういったものにこのWFは使われています。

この補助金制度ができて今年で11年目です。初年度2013-14年度が、地区補助金を利用して奨学生を派遣し、ほぼ毎年派遣をしてきました。そして、人道奉仕としての地区補助金。初年度は15プロジェクト。18クラブが手を挙げてくれました。そこからずっと来て今年で11年目。高丹ガバナー年度は32件のプロジェクトが申請されています。地区内50のクラブの中で37クラブが手を挙げてくれました。非常に活発に利用していただいていると感じております。

地区というのも少しお話をさせていただきます。実質的には相原年度ではなく、鈴木年度。コロナのパンデミックになったあの時期です。各地区にフェイスシールドの寄贈のプロジェクトに参加するかどうかというのが来まして、そのときの鈴木ガバナーがそれに参加をすると表明されました。当地区としまして、埼玉県にフェイスシールド2万5000枚を送ったプロジェクトがこれにカウントされています。そしてグローバル補助金です。初年度からグローバル補助金奨学生をずっと派遣してきて、今年高丹ガバナー年度、奨学生2名を派遣しています。2名ともアメリカです。1人が、アトランタの大学院で、感染症の勉強。もう1人がワシントン大学で発達障害の子供たちの支援の勉強をしています。そして人道的方針、グローバル補助金。なかなか立ち上がらなくて、3年目に識字率向上プロジェクトに私行ってきました。3年経って、2019-20年度、素晴らしい事に4件、人間ロータリークラブがネパールと、川越ロータリークラブがミャンマーと、そしてこちらの寄居ロータリークラブの佐橋さんと安齋さんに参加していただいた、第4グループと台湾での医療巡回車のプロジェクト、そして本庄南ロータリークラブがタイと行っています。本年度、1件申請中でございます。これがDDFの活用状況並びに予定です。3年前の年次基金の半分まで、今年どれだけDDF地区財団活動資金が利用できるのかというのわかりません。3年前の半分11万4415ドル9セント。恒久基金の収益の半分3万9061ドル68セント。この二つの合計が15万3000ドル。前年度



から使わなかったDDFは繰越ができます。前年度からの繰入額が25万1079ドル8セント、合計が今年使えるDDFは40万4555ドル85セント。それを今年度の活用予定として、ポリオへの寄贈が5万ドル、ロータリー平和センターへの寄贈が1万ドル、そして、クラブでご利用いただいています地区補助金に3万7000ドル、グローバル補助金奨学生2名を派遣しているとお話しましたが、若干額が増えているのは、2年間の修士課程なので今年と来年この2人は留学をしています。それを一括で支払っている関係上の増加です。深谷ノースロータリークラブがタイでの人道支援のプロジェクトを申請中で2万ドル、合わせて18万3668ドル。このDDFを利用する予定です。この繰越額がないとすると、3年前のこの二つの合計15万3476ドルしかなくなります。そして、今年18万使います。ここで7万6000ドル、これなぞDDFの半分かといいますと、この半分までしか地区補助金は利用できません。地区補助金として利用できるのは上限が決められてしまいます。まだ、今日現在、多分来年、再来年ぐらいの繰入額は残っていると思います。地区補助金として利用できるのは、こういう決まりがありますけれども、繰越額を持っている当地区としましては、グローバル補助金プログラムには、言い方が正しいかわかりませんが、ある程度潤沢な資金を持っているわけです。ぜひとも皆様方ご自身が、財団への寄付、その使えるDDFを皆様方自身が、関係するプロジェクト、そういうものをこの1年、2年その位のところで立ち上げていただきたいです。ロータリー財団はロータリーアンのためにあります。ロータリーアンが困っている人たちのところに直接出向いて支援をする。そういった事をするために、財団の寄付があるということを知り、今は使えますので、ぜひとも、グローバル補助金プロジェクト推進のお願いをしたいと思います。

なぜ、あと2年ぐらいかといいますと、この繰入額にもさらにロータリー財団が制約をかけようとしています。ロータリー財団管理委員会が、こうしなさい、あしなさいという形になりつつあります。ですから、今のうちに自分たちが集めた寄付ですので、何らかの形でご利用いただければと思います。いずれにしても、財団への皆様方の寄付が、この世界で援助を求めている人たちのために使われている。それがロータリー財団になります。今後とも、ロータリー財団への理解とご協力をお願いしております。ご清聴ありがとうございました。

松本 則之会長

茂木委員長、大変ためになるお話ありがとうございました。私もポリオ放置しておく、患者が20万人になるというような話を初めて伺いまして、そんな素晴らしいことの活動してるなということで本日勉強になりました。どうも、ありがとうございました。

11月12日(日) ふるさとの祭典市 サンマ焼き 参加

(社会奉仕委員会)



点鐘 会長 松本 則之さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2023.11.15 会長 松本 則之 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
No. 11 幹事 松本 幸男 副委員長 浅見 克一

・例会日時 毎週(水) 12:30~13:30
・例会場 ホテルシティプラザ寄居
・住所 寄居町大字桜沢888-1
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530